

CONTENTS

特集 NSAIDs

特集『NSAIDs』の企画にあたって 深瀬 徹326
NSAIDsの薬物学と薬理学 深瀬 徹, 中村有加里327-332
動物用医薬品としてのNSAID製剤 中村有加里, 深瀬 徹333-338
犬と猫の整形外科診療におけるNSAIDsの処方 渡邊亮太, 藤田幸弘339-346
ウサギの臨床におけるNSAIDs使用の実際 内藤晴道347-352
新しいNSAID製剤 メロキシリン チュアブル –メロキシカムのチュアブル製剤の開発– 土屋和也355-358
新しいNSAIDs製剤 トロコキシル® チュアブル –服薬アドヒアランス向上を実現する長期持続型NSAIDs製剤–
村瀬正典359-362

● 事例報告

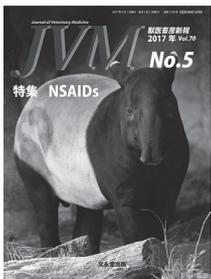
秋田県北部家畜保健衛生所管内めん羊飼養農場における消化管内寄生虫症対策
李 英輝364-369

● 論壇

飼い主への説明をわかりやすくするために –資料を使って説明するときの注意点–
宮崎良雄384-385

● 資料

第8回東アジア獣医系大学ジョイントシンポジウム開催
木村順平, 柳井徳磨389-391



Cover 作者 村田浩一 (日本大学生物資源科学部教授 / よこはま動物園ズーラシア園長)

1952年神戸市生まれ。1978年より神戸市立王子動物園で獣医師として勤務。2001年から日本大学生物資源科学部の教員となる。2011年からよこはま動物園ズーラシア園長と横浜市繁殖センター担当部長を兼務。元日本野生動物医学会 会長 (現顧問), 日本動物園水族館協会学術研究部長, IUCN 野生動物衛生専門家グループ東アジア担当委員長, OIE 野生動物衛生ワーキング・グループ委員等を歴任。共著書に『動物園学』, 『野生動物の医学』, 『獣医学・応用動物科学系学生のための野生動物学』など多数。

マレーバク (*Tapirus indicus*)

インドネシアやマレーシアなど東南アジアの熱帯雨林に生息する大型草食動物。奇蹄目(ウマ目)に属するが, 前足の指は4本で偶数。黒と白の模様が特徴的で, 白色部分はお釈迦様が乗った鞍の跡という俗説がある。悪夢を食べてくれる動物として知られているが, 日本だけの伝説らしい。森林開発で個体数が激減。IUCNのレッドリストで絶滅危惧種(EN)に指定され, 国内外の動物園で飼育下繁殖の努力が続けられている。

連載

繁殖用超音波機器で始める牛の消化管疾患の超音波画像診断 (9) [基礎篇 9] 肝臓の描出法 2 肝臓の血管と胆管 水谷 尚	370-373
小動物の画像診断 (140) 犬のブラ 茅沼秀樹	374-376
新 小動物・細胞診シリーズ (203) 犬の成熟リンパ球増加症 石田卓夫	378-379
世界の動物薬市場の動向 (172) 2016 年 11 月に発売または開発された動物用製品 秦 敦朗	380-381
病理学的変化を読み解く 各論 (13) 神経系の炎症⑤ 内田和幸	382-383
いきもの散歩道 —動物行動学からみた生物の世界— (166) お前が痒いから、おれも痒い。あー痒い 菊水健史	386-387
Easy English for Vets (287)	388
蔵六庵主人の古物稀物拾遺 (14) 帯廣高等獣醫學校報國團々誌班『學内消息』創刊號と第二號 蔵六庵主人	399
人と家畜のエピソード <i>Episode 62</i> アフリカの野生動物をつくる 池谷和信	325
こよみ 5月のカレンダー 5月生まれの小説家と漫画家「北 杜夫, 萩尾望都」 深瀬 徹	324
くにかず & ひろこのほっとひといき 5月のフォトポエム「過去は続く」 清水邦一, 清水宏子 写真・光川十洋	表 3
お休み: 「薬話」「症例シリーズ」「JVM あんなペット・こんなペット」「Voice from the earth」	

Information

- 開催案内 (392-393)
- ニュース (394-395)
- 募集 (396)
- 新製品・新刊 etc. (397-398)

編集委員会 (五十音順, ◎印: 委員長)

尾崎 博	東京大学 教授
植田富貴子	日本獣医生命科学大学 教授
内田和幸	東京大学 准教授
酒井健夫	日本大学名誉教授
内藤善久	岩手大学名誉教授
◎長谷川篤彦	前日本大学 教授, 東京大学名誉教授
羽山伸一	日本獣医生命科学大学 教授
藤田桂一	フジタ動物病院 院長
若尾義人	麻布大学名誉教授